

8

仲良くしよう平和のために

広く豊かな心をもって

戦争と平和について学ぼう ～広島・長崎を訪ねて～

品川区では、核兵器が世界からなくなり、永久に平和が続くことを願い、昭和60年3月26日に、「非核平和都市品川宣言」を行いました。戦後76年という長い歳月が流れ、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさが風化することがないように被爆地である広島へ8年生を各校から1名の15名、長崎へは一般公募の青少年6名を「品川区平和使節」として派遣しています。

派遣された生徒たちは、平和祈念式典への参加、資料館の見学、原爆被爆者の方のお話を聞くなどの体験を通して、「平和」や「戦争」についての理解を深めます。学校に戻ってからは、友だちや地域の方々に自ら考えたことや感じたことなど体験の成果を伝えます。



広島・平和祈念式典黙祷



広島・原爆ドーム



長崎・山里小学校資料室



長崎・平和祈念像

広島平和使節派遣に参加して

昭和20年8月6日、午前8時15分、広島に青白い光が襲いかかりました。原子爆弾が投下されたのです。広島では約14万人の人々が亡くなり、多くの方に後遺症が残りました。原爆は人々の命だけでなく、その後の幸せや未来を奪い取っていったのです。

悲惨な過去から74年が経ち、私は平和使節派遣生として広島市を訪れました。するとそこには、原爆の面影がないほど復興した広島街が広がっていました。この光景に私は、被爆者の方々が復興に力を注いできたことが分かりました。

私が広島平和使節派遣に参加して特に心に残ったことは2つあります。

1つ目は、被爆者講話で白石多美子さんから受け取った言葉です。それは、「学生時代を楽しんでください。」という言葉です。原爆が投下され、何百人、何千人、何万人と無差別に人が殺されました。中には、私たちのようなこれからの未来を背負っていく、若い世代の方もたくさんいます。普段当たり前前に生活していることも当時からすれば当たり前ではなかったこと、何気なく過ぎていった今日も被爆者からすれば生きたかった今日、というように考えるとその人たちの分まで生きようと思うようになりました。

2つ目は、平和記念式典への参列です。アメリカ合衆国、ロシア連邦をはじめとする約90カ国が参列しており、たくさんの外国人がいました。その光景に私は、平和への意識が日本だけでなく、国境を越えて高いと感じ嬉しくなりました。また、広島市立の小学生がお話した平和への誓いで「悲惨な過去を悲惨な過去のままにしない」ということがとても重要だと思います。なぜなら、過去ばかり見ても何も進まないからです。未来を幸せにするには、私たちが行動しなければなりません。今の私たちのような若い世代は、「原爆」や「平和」についての想いや考えが薄いと思います。しかし、このとても辛い出来事を私たちは決して忘れてはいけません。そのために、被爆者の方や遺族の方の想いを受け継ぎ、同世代の方にもさらに知ってほしいです。それだけではありません。周りの人や後世にもどんどん伝えていき、世界中の人が「平和」について理解を深められる社会にしたいです。

平和とは、「自分たちで作り上げていくもの」ということをこの広島での貴重な体験や学習を通して学びました。だから、自分にできることを探し、1つでも多く平和に貢献していきたいと思います。(8年生) 【2019年 広島平和使節派遣生徒の感想文】

さまざまな体験をとおして世界に視野をひろげよう

現在、品川区はアメリカのポートランド市、ニュージーランドのオークランド市、スイスのジュネーブ市と姉妹都市や友好都市になっています。

品川区国際友好協会では、青少年のホームステイ派遣や受入など文化、スポーツ、教育などを通じて、相互理解と友情を深め、世界平和の維持に貢献することを目的として、さまざまな交流事業を行っています。その1つとして毎年夏、区内在住・在学の8年生から高校3年生を対象に、姉妹都市や友好都市の一般家庭でホームステイをしながら、その国の文化や生活習慣を学んだり、語学力・国際感覚を高めることを目的とした派遣事業を行っています。



オークランド市青少年語学派遣



ジュネーブ市青少年語学派遣

★ホームステイ派遣やホストファミリーとしての受入については、こちらにお問い合わせください
公益財団法人 品川区国際友好協会 ☎5742-6517 ホームページ：<https://www.sifa.or.jp>

品川区では2014年から、各校の代表生徒1名をホームステイでニュージーランドへ派遣しています。また希望者は、7年生から放課後に実施されているグローバル人材育成塾で英会話の勉強ができます。塾生は夏休み中、国内で留学生活が体験できるイングリッシュ・キャンプに参加することもできます。

これらの活動に積極的にチャレンジして、世界に大きく羽ばたいてください。



イングリッシュ・キャンプ

イングリッシュ・キャンプ参加者の感想より

- スタッフの方がとても優しく、フレンドリーに接してくださるので、私もたくさん英語を話すことができました。聞くことに慣れ、英語の説明も分かるようになったので、とても楽しく過ごせました。また、建物が素敵で、本当にイギリスに留学したみたいでした。(8年女子)
- いざ英語で話すとなると、単語が出てこなかったり、もじもじして話すことができなかつたりしてしまうのが悩みでした。でも、イングリッシュキャンプを通じて外国の方と話すことが多かったので、以前に比べて英語をより積極的に話すことができるようになりました。とても良い経験となりました。(8年女子)
- 学校では、時々ALTの先生がいらっしゃいますが、英語をたくさん聞けるわけではありません。しかし、イングリッシュキャンプでは、講師のほかにも外国から来たスタッフがたくさんいて、英語をたくさん聞くことができたので良かったです。キャンプでは様々なことを学んで、話す力や聞く力を付けることができました。(8年男子)
- 英語を聞き取ることが苦手で、うまく聞き取れるかとても不安でした。しかし、身振り手振りをすることで、伝えようとすれば相手に思いを伝えられると分かりました。英語がとても好きになりました。(8年男子)